

---

# 東京都微生物検査情報

## MONTHLY MICROBIOLOGICAL TESTS REPORT、 TOKYO

---

第40巻 第 10号  
2019年 10月号  
月 報



東京都健康安全研究センター

*<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>*

---

ISSN 1883-2636

## 平成 30 年の全国及び東京都における食中毒発生状況

平成 30 年に全国及び東京都内で発生した食中毒事件の概要と特徴について、厚生労働省医薬・生活衛生局食品監視安全課並びに東京都福祉保健局健康安全部の資料に基づいて紹介する。

### 1. 全国における食中毒発生状況

食中毒事件総数は 1,330 件、患者数は 17,282 名（死亡者 3 名）であり（表）、事件数は前年比 1.31、患者数は前年比 1.05 で増加した。そのうち病因物質不明は 24 件（1.8%）、患者数 617 名（3.6%）であった。

事件数を病因物質別にみると、細菌性食中毒は 467 件（35.1%）、前年比 1.04 でほぼ横ばいであった。病因菌別の第一位は、平成 15 年以降連続してカンピロバクター 319 件（24.0%）であり、以下、ウエルシュ菌 32 件（2.4%）、腸管出血性大腸菌 32 件（2.4%）、黄色ブドウ球菌 26 件（2.0%）、腸炎ビブリオ 22 件（1.7%）、その他の病原大腸菌 8 件（0.6%）、セレウス菌 8 件（0.6%）、赤痢菌 1 件（0.1%）、エルシニア・エンテロコリチカ 1 件（0.1%）の順であった。

細菌性食中毒の患者数は 6,633 名（38.4%）、前年比 1.00 で横ばいであり、患者数の多い原因菌は、ウエルシュ菌 2,319 名（13.4%）、カンピロバクター 1,995 名（11.5%）、サルモネラ 640 名（3.7%）、腸管出血性大腸菌 456 名（2.6%）であった。

腸管出血性大腸菌感染例は、5 月に東京、埼玉、茨城、福島の 4 都県で、同一由来の腸管出血性大腸菌 O157（VT1,2 産生）が原因と考えられる散発例が発生し、患者 20 名が報告された。このうち埼玉の発生例では、残品のサンチュから本菌が検出され、食中毒と断定された。また、8 月には同系列のハンバーガー店 21 店舗を利用した患者 30 名が複数自治体で認められ、うち長野県 2 店舗の事例が腸管出血性大腸菌 O121（VT2 産生）による食中毒と断定された。

1 事件あたり患者数 500 名以上の大規模食中毒は 1 件で、京都の刑務所で発生したウエルシュ菌による食中毒で、患者数 621 名であった。受刑者が交代で調理した給食が原因と思われたが、原因食品は不明であった。また、近年報告例の少な

かった腸炎ビブリオ食中毒が 22 件発生したが、このうち 20 件は東京都を中心とした同系列寿司店 21 店舗で提供された生うにを主な原因食品とする事例で、患者数は 197 名であった。赤痢菌による食中毒は、平成 24 年以降国内発生がなかったが、昨年 10 月に山梨県の宿坊施設や旅館で提供された食事などを原因として、岡山県や東京都などで 99 名の患者が報告された。

一方、ノロウイルスによる食中毒は、事件数 256 件（19.2%）、患者数 8,475 名（49.0%）であり、患者数が最も多かった。前年比は事件数 1.20、患者数 1.0 と、ほぼ横ばいであり、一事件あたり患者数 500 名以上の大規模食中毒は 1 件で、患者数 550 名、原因食品は不明であった。

平成 25 年より食中毒病因物質の種別に追加されたアニサキスによる食中毒は、468 件（35.2%）で食中毒全体の第一位（前年比 2.03）となり、原因食品としてカツオが最多であり、クドアによる食中毒は 14 件（1.1%）であった。

化学物質による食中毒は 23 件（1.7%）、植物性自然毒は 36 件（2.7%）、動物性自然毒は 25 件（1.9%）であった。食中毒による死亡者は 3 名で、その原因は植物性自然毒であり、原因食品はイヌサフランと、毒キノコのニセクロハツによるものであった。

### 2. 東京都における食中毒発生状況

都内の食中毒事例は、事件数 185 件（患者数 1,917 名）で、死亡例は報告されなかった（表）。平成 29 年の事件数 132 件（患者数 2,628 名）と比べ、前年比 1.40 で事件数は増加したが、患者数は前年比 0.73 で減少した。食中毒 185 件中、細菌によるものは 67 件（36.2%）で、内訳はカンピロバクターによる食中毒が 41 件（22.2%）で、以下、腸炎ビブリオ 13 件（7.0%）、腸管出血性大腸菌 6 件（3.2%）、ウエルシュ菌 4 件（2.2%）、サルモネラ 2 件（1.1%）、黄色ブドウ球菌 1 件（0.5%）であった。

細菌性食中毒の患者数は 751 名（39.2%）で、前年比 0.91 で減少した。患者数は、腸管出血性大腸菌 270 名（14.1%）、カンピロバクター 235 名

(12.3%)、腸炎ビブリオ 120 名 (6.3%)、ウエルシュ菌 108 名 (5.6%)、サルモネラ 11 名 (0.6%)、黄色ブドウ球菌 7 名 (0.4%) であった。

患者 100 名以上の大規模事件は、ホテルで提供された食事による腸管出血性大腸菌 O157(VT1,2 産生) を原因とする食中毒 1 事例のみであった。また、腸炎ビブリオは 13 件で、例年に比べて増加したが、前述の通りすべて同系列寿司店による事例であった。

ノロウイルスによる食中毒は事件数 28 件 (15.1%) で、前年と大きな違いが認められなかったが、患者数では 920 名 (48.0%) と前年比 0.57

で減少した。患者数 100 名以上の大規模食中毒は 3 件で、原因食品は餅つき大会でついた餅と、仕出し弁当であった。

アニサキスによる食中毒は 78 件 (42.2%) 発生し、事件数では全国と同様最多で、カツオを原因食品とする食中毒事例が多いことが特徴であった。また、病因物質不明の食中毒は 3 件、患者数 49 名であり、飲食店で提供された弁当や寿司などが原因であった。

(食品微生物研究科 前田雅子)

表. 平成 30 年の食中毒発生状況 (全国、東京都)

原因物質	全国			東京都		
	事件数 (%)	患者数 (%)	死者数	事件数 (%)	患者数 (%)	
細菌	サルモネラ	18 ( 1.4)	640 ( 3.7)	—	2 ( 1.1)	11 ( 0.6)
	黄色ブドウ球菌	26 ( 2.0)	405 ( 2.3)	—	1 ( 0.5)	7 ( 0.4)
	ボツリヌス菌	—	—	—	—	—
	腸炎ビブリオ	22 ( 1.7)	222 ( 1.3)	—	13 ( 7.0)	120 ( 6.3)
	腸管出血性大腸菌	32 ( 2.4)	456 ( 2.6)	—	6 ( 3.2)	270 ( 14.1)
	その他の病原大腸菌	8 ( 0.6)	404 ( 2.3)	—	—	—
	ウエルシュ菌	32 ( 2.4)	2,319 ( 13.4)	—	4 ( 2.2)	108 ( 5.6)
	セレウス菌	8 ( 0.6)	86 ( 0.5)	—	—	—
	エルシニア・エンテロコロチカ	1 ( 0.1)	7 ( 0.0)	—	—	—
	カンピロバクター	319 ( 24.0)	1,995 ( 11.5)	—	41 ( 22.2)	235 ( 12.3)
	赤痢菌	1 ( 0.1)	99 ( 0.6)	—	—	—
総数	467 ( 35.1)	6,633 ( 38.4)	—	67 ( 36.2)	751 ( 39.2)	
ウイルス	ノロウイルス	256 ( 19.2)	8,475 ( 49.0)	—	28 ( 15.1)	920 ( 48.0)
	その他のウイルス	9 ( 0.7)	401 ( 2.3)	—	2 ( 1.1)	89 ( 4.6)
	総数	265 ( 19.9)	8,876 ( 51.4)	—	30 ( 16.2)	1,009 ( 52.6)
寄生虫	アニサキス(シュードテラノーバを含む)	468 ( 35.2)	478 ( 2.8)	—	78 ( 42.2)	79 ( 4.1)
	クドア・セプテンpunkタータ	14 ( 1.1)	155 ( 0.9)	—	1 ( 0.5)	7 ( 0.4)
	サルコシステイス	1 ( 0.1)	8 ( 0.0)	—	—	—
	その他の寄生虫	4 ( 0.3)	6 ( 0.0)	—	—	—
	総数	487 ( 36.6)	647 ( 3.7)	—	79 ( 42.7)	86 ( 4.5)
化学物質	化学物質	23 ( 1.7)	361 ( 2.1)	—	3 ( 1.6)	9 ( 0.5)
自然毒	植物性自然毒	36 ( 2.7)	99 ( 0.6)	3	—	—
	動物性自然毒	25 ( 1.9)	34 ( 0.2)	—	1 ( 0.5)	1 ( 0.1)
	総数	61 ( 4.6)	133 ( 0.8)	3	1 ( 0.5)	1 ( 0.1)
その他	*1	3 ( 0.2)	15 ( 0.1)	—	2 ( 1.1)	12 ( 0.6)
原因物質不明		24 ( 1.8)	617 ( 3.6)	—	3 ( 1.6)	49 ( 2.6)
総数		1,330 (100.0)	17,282 (100.0)	3	185 (100.0)	1,917 (100.0)

\*1 その他 (3 件) は、カンピロバクター及びサルモネラ (東京、他県)、カンピロバクター及びO157 (東京) との混合感染

表1 病原体搬入・検出状況(4種等)※

2019年10月分

機関名		コレラ菌	赤痢菌	チフス菌	パラチフスA菌	腸管出血性大腸菌	結核菌
区	千代田区					4	
	中央区						
	港区					2	
	新宿区					4	5
	文京区		1			2	
	台東区					2	
	墨田区					1	
	江東区						
	品川区					1	
	目黒区					4	
	大田区					5	2
	世田谷区					3	2
	渋谷区						
	中野区					2	
	杉並区					4	
	豊島区					2	
	北区					2	
	荒川区					2	
	板橋区					2	3
	練馬区					1	
	足立区					5	
葛飾区					1		
江戸川区					7		
市	町田市					1	
	八王子市					6	2
小計			1			63	14
都	西多摩						
	多摩立川					2	3
	南多摩						
	多摩府中					4	1
	多摩小平					1	
	島しょ						
小計						7	4
合計			1			70	18
健康安全研究センター 検出分						29	

※2016年4月より、各保健所から搬入された検体を集計することとした。

表2 検体搬入状況(全数把握対象疾患-五類)\*

2019年10月分

	検体数	2019年累計
侵襲性インフルエンザ菌感染症(菌)	8	63
侵襲性髄膜炎菌感染症(菌)	1	6
侵襲性肺炎球菌感染症(菌)	7	104
カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症(菌)	9	70
播種性クリプトコックス症(菌)	2	8
合計	27	251

※2016年4月(第37巻・第4号)から追加

表3 病原微生物検出状況(食中毒関連)

2019年10月分

	菌種名	検体数	2019年累計
細菌	大腸菌		
	毒素原性		2
	組織侵入性		
	腸管出血性		9
	その他・不明	49	49
	サルモネラ		
	O4	2	9
	O7	1	5
	O8		8
	O9		1
	その他		1
	腸炎ビブリオ		1
	プレジオモナス・シゲロイデス	1	2
	カンピロバクター	22	146
	黄色ブドウ球菌	1	16
A型ウエルシュ菌		98	
エシェリキア・アルベルティイ		2	
プロビデンシア・アルカリファシエンス		49	
ウイルス	ノロウイルス(G I)	1	60
	ノロウイルス(G II)	4	496
	ノロウイルス(G I, G II)	1	9
	ロタウイルス	11	11
	サポウイルス		21
寄生虫	アニサキス	5	37
	クドア		
合計		119	1053

**表4 HIV 検査数及び陽性数**

2019年10月分

	男性		女性		性別不明		合計	
	検査数	陽性数	検査数	陽性数	検査数	陽性数	検査数	陽性数
東京都南新宿検査・相談室	668	2	258	0	0	0	926	2
保健所等	204	1	120	0	0	0	324	1
合計	872	3	378	0	0	0	1,250	3
2019年累計	9,640	77	3,908	3	0	0	13,549	80

**表5 性感染症検査数及び陽性数**

2019年10月分

	梅毒検査		クラミジア遺伝子検査		淋菌遺伝子検査	
	検査数	陽性	検査数	陽性	検査数	陽性
東京都南新宿検査・相談室	926	61	0	0	0	0
保健所等	250	2	245	19	143	2
合計	1,176	63	245	19	143	2
2019年累計	12,791	755	2,888	151	1,825	9

表6 定点把握疾患別病原体分離状況（ウイルス）

過去3ヶ月

定点種別	対象疾患名	検出病原体	8月	9月	10月	合計
小児科	咽頭結膜熱	エンテロウイルス		1		1
	手足口病	エンテロウイルス	5	5	4	14
		パレコウイルス		1		1
	RSウイルス感染症	RSウイルス	2	3	3	8
	ヘルパンギーナ	エンテロウイルス	1	1	2	4
		アデノウイルス		1		1
	流行性耳下腺炎	ムンプスウイルス	2			2
		エンテロウイルス	2	1		2
	不明発疹症	アデノウイルス	1			1
		エンテロウイルス		2	1	3
		RSウイルス		1		1
		パレコウイルス		1		1
	突発性発疹	エンテロウイルス		1		1
パレコウイルス			1		1	
インフルエンザ	インフルエンザ及び インフルエンザ様 疾患 (ILI)	インフルエンザウイルスAH1pdm09	5	9	18	32
		インフルエンザウイルスAH3				
		インフルエンザウイルスB型Victoria系統	1			1
		インフルエンザウイルスB型Yamagata系統				

◆東京都微生物検査情報◆

2019年 11月 29日

編集・発行

東京都健康安全研究センター

〒169-0073

東京都新宿区百人町 3-24-1

TEL:03-3363-3231

FAX:03-5332-7365

S0000786@section.metro.tokyo.jp

<http://idsc.tokyo-eiken.go.jp/>